

令和3年度通常総会

日 時 令和3年5月31日（月）午後2時30分
会 場 城山ホテル鹿児島 クリスタルガーデン

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

会 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 成立宣言
- 5 議長選出
- 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議 案
 - 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算について
(監 査 報 告)
 - 第2号議案 理事の選任について
 - (3) 報告事項
令和3年度事業計画及び予算について
- 7 その他
- 8 閉 会

(休 憩)

◇ 講演会

演題 「工業でも農業でも共通なAI/IoT技術導入の流れ」

講師 山下 健一氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター副研究センター長)

◇ プレゼンテーション

中迫明夫氏((株)サナス機能素材部次長)、前津晋也氏(同左機能素材部アプリケーション開発課長):「揚げ物用デンプンと介護用嚥下剤商品の紹介」
中山 佑樹氏((株)ネクシィーズ鹿児島営業所):「設備導入支援による地球環境保全」

若手経営者プラザ:「YouTube バトンとオンラインビジネスマッチングについて」

上田平重樹氏(インターマン(株)代表取締役社長):「抗ウイルス酸化銅マスクの紹介” V-LOCKS® ”」

川前康博氏:「食品衛生法改正に伴う本格運用前夜に際して」

【第1号議案】 令和2年度事業報告及び決算について

[事業報告]

(公社)鹿児島県工業倶楽部は、異業種間の交流・融合化の推進や、産学官のネットワーク化による企業の新事業展開につながる支援、知的財産権に関する経営課題や経営戦略を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」での相談対応、さらには、工農連携による農林水産業や食品産業の成長・発展への支援など、本県産業の振興や地域経済の発展に貢献することを目的としている。

令和2年度は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により我が国の経済活動は大きな影響を受けた。工業倶楽部では、このかつてない環境変化に対し、各企業が現状を打破し、新分野展開などの事業の再構築に取り組み、企業価値を高めることに貢献する各種事業及び情報提供に努めた。各委員会、各部会、異業種交流プラザ、地区プラザ、研究会では企業が単独で利益を出すのではなく、他社を巻き込んで相互にプラスの利益を生み出すビジネスの多様なつながりを生み出す契機となるようなセミナーやラボツアー等を開催した。テーマもポストコロナに向けたデジタル化の推進、SDGs、工農連携、DX など企業の新たな挑戦を支援する内容で展開した。

また、去る2月1日には鹿児島県知事、九州経済産業局長、鹿児島大学学長等を来賓に迎え「鹿児島県工業倶楽部創立30周年記念式典」を開催し、今後の工業倶楽部を担う「若手経営者プラザ」からは「ITを活用したパートナーシップで世の中をリードする～工業倶楽部総DX化を目指して」と題し、時代に合ったパートナーシップを追求し、時流に合った活発な組織に変化し続けようと提言があった。

さらに、鹿児島大学と主催する「第10回食と健康に関するシンポジウム」も創立30周年記念事業のひとつとして開催し、鹿児島県知事の基調講演など「食と健康」で創る!鹿児島の新たな成長産業」と題するシンポジウムを開催し、様々な革新的な研究成果等を企業の新たな商品化・事業化につなげる機会の創出に努めた。

さらにまた、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校、ベンチャープラザ鹿児島二水会等との連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図ることで、それぞれが持つ「知」の集積を異分野での活用場に広げ、会員企業の新たな事業展開につながる場を提供した。

[主要事業]

1 理事会

- (1) 令和元年度決算に係る監事の監査(4/16)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会を開催(4/21)
 - ① 令和元年度事業報告及び決算案について(総会へ提出)
 - ② 役員改選について(総会へ提出)
 - ③ 通常総会の延期について
 - ④ 書面表決及び表決の委任等を活用した通常総会の開催について
 - ⑤ 入会の承認について

- (3) 第2回理事会開催(6/29)
 - ① 会長及び副会長の選出について

- (4) 第2回正副会長会及び第3回理事会を開催(10/13)
 - ア 正副会長会及び理事会を開催
 - ① 入会の承認について
 - ② 工業倶楽部創立第30周年記念式典について
 - ③ 研究会の設立について
(報告事項)
 - ① 職務執行状況報告について
 - ② 「第10回食と健康に関するシンポジウム」について
 - ③ 特定費用準備資金(周年事業積立金)取崩計画について
 - ④ 配賦基準について
 - イ 懇談会(県議会産業観光経済委員会、県と懇談)

- (5) 第3回正副会長会及び第4回理事会を開催(3/23)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和3年度事業計画及び収支予算について
 - ③ 理事の選任について
 - ④ 令和3年度総会について

2 総会(6/29) 城山ホテル鹿兒島

- ① 令和元年度事業報告及び決算の承認について
- ② 役員改選について
- ③ 令和2年度事業計画及び予算の報告について

④ 講演会

演題 「未活用生物資源を用いた食・薬・材の創生」

講師 国立研究開発法人産業技術総合研究所食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ副ラボ長 富永 健一氏

⑤ プレゼンテーション

・(株)久永 野元 潤氏

「ワークスタイル変革～テレワーク導入のポイント」

・アルバック九州(株)取締役 末重 公德氏

「真空技術 未来への期待」

・(株)食品安全推進センター代表取締役社長 佐々木智康氏

「食品衛生管理(HACCP)の制度化について」

・鹿児島県知財総合支援窓口

「知財総合支援窓口に関する事業紹介」

⑥ 交流パーティー

3 (公社)鹿児島県工業倶楽部創立 30 周年記念式典

【日時】 令和3年2月1日 (月) 16:00～17:00

【会場】 城山ホテル鹿児島(エメラルドホール)

(1)日 時 令和3年2月1日 (月) 16:00～17:00

(2)場 所 城山ホテル鹿児島(エメラルドホール)

(3)内 容

①開 式

②式 辞

(公社)鹿児島県工業倶楽部会長 岩元 正孝

③来賓挨拶

九州経済産業局長 米田 健三

鹿児島県知事 塩田 康一

鹿児島大学学長 佐野 輝

④未来への提言

若手経営者プラザ会長 中崎 啓文

脇野 真梨江

(4)参加人数 109名

4 第10回食と健康に関するシンポジウム

【日時】 令和3年2月1日 (月) 14:00～16:00

【場所】 城山ホテル鹿児島(エメラルドホール)

(テーマ)「食と健康」で創る！鹿児島県の新たな成長産業

(1)日 時 令和3年2月1日(月) 14:00～16:00

(2)場 所 城山ホテル鹿児島 エメラルドホール

(3)主 催 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部、国立大学法人鹿児島大学

(4)内 容

①基調講演

塩田康一鹿児島県知事

「鹿児島の豊かな地域資源を活かした未来への挑戦」

②講演

堀内正久鹿児島大学教授

「未来志向の給食システムの提案～食材連携で鹿児島の健康を創る」

磯田博子筑波大学教授

「食資源の高度利用で新産業育成を図る」

(5)参加人数 171名

(6)後 援

九州経済産業局、鹿児島県、(独法)中小企業基盤整備機構南九州事務局、
(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市、(株)鹿児島TLO、南日本新聞
社、NHK鹿児島放送局、MBC、KTS、KKB、KYT

5 知財総合支援窓口について

(1)令和2年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数

単位:件 %

支援項目 計画と実績	相談支援件数 合計 A	専門家活用 支援件数 (Aの内数)	新規相談件 数 (Aの内数)	普及啓発の訪 問企業数	臨時窓口開設 (県工業技術センター等)	
					本土	離島
年間計画 件	2,000	340	350	400	36回	12回
実績 件	2,097	395	378	428	44回	18回
達成率 %	104.9	116.2	108.0	107.0	122.2	150.0

(2)中小企業支援機関担当者連絡会議開催(8/5,3/1)

・九州経済産業局及びINPIT並びに県内の中小企業支援機関が出席し、中小企業の知的財産に関する事業、海外展開等に対する支援事例や来年度の事業について情報交換を行い、今後の連携支援の検討及び支援の高度化を図った。

6 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

(1) 第79回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】令和2年10月14日(水)

【会場】鹿児島東急REIホテル

【内容】第1部 ビジネスプラン発表

① カクイ株式会社(鹿児島市)

ゼロビオース開発の経緯～なぜ綿屋が機能性物質を～

② 三州産業株式会社(鹿児島市)

植物検疫に用いられるモジュール型蒸熱処理装置の販路拡大

③ 株式会社イーデン電気(鹿屋市)

光触媒を用いた抗菌施工による感染予防対策としての販路拡大

(2) 第80回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】令和3年2月10日(水)

【会場】鹿児島東急REIホテル

【内容】第1部 第12回かごしま産業技術賞表彰式

第2部 同賞受賞記念報告会

① キリシマ精工株式会社

患者と歯科医の負担軽減を実現する歯列矯正具

② 薩摩総研株式会社

金属に代わる射出成形用シリコーン樹脂材料

③ 株式会社日置精工

小さな躯体で大きな仕事、多層式ドラム回転型食品選別機

7 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究などを実施。

プラザ、部会、地区プラザ等それぞれの計画に従って随時開催

(実績：別紙)

8 会報の発行

① 第66号(2020年7月)

(通常総会、新型コロナウイルス対策で活躍する新ビジネス、部会・プラザ活動状況、若手経営者紹介、新会員情報等)

② 第67号(2021年2月)

(鹿児島県工業倶楽部創立30周年記念式典、「第10回食と健康に関するシンポジウム」、私と工業倶楽部、新会員情報等)

9 その他

- (1) 委員会活動
(実績：別紙)

10 その他関連事業

- (1) 鹿児島大学との連携(工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結)

- ・食と健康に関するシンポジウム(再掲)
- ・大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会
- ・鹿児島県工業倶楽部賞(今年度は該当者なし)

- (2) インターンシップ

インターンシップ事業講師派遣

鹿児島市立吉野中学校:トヨタ車体研究所(11月14日)

長島町立獅子島中学校:田上康朗氏(地方産業経営研究所)(7月1日)

- (3) かがしまデザインフェア 2022(2020年10月~2021年3月)

※今年度はオンライン「YouTube」での開催

◇活動実施状況

令和2年 4月 21日	正副会長会を開催し、令和元年度決算及び令和2年度予算について協議 理事会を開催し、令和元年度決算及び令和2年度予算について協議
5月 13日	八日会を開催し、情報交換を実施
6月 10日 29日	八日会を開催し、情報交換を実施 令和2年度 通常総会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催 令和元年度の事業報告及び収支決算、役員改選、並びに令和2年度事業計画及び収支予算 (案)等について審議を行い承認・可決された。 また「未活用生物資源を用いた食・薬・材の創生」と題し、国立研究開発法人産業技術総合研究所 食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ副ラボ長 富永 健一氏が 講演 プレゼンテーションとして(株)久永 野元 潤氏による「ワークスタイル変革～テレワーク導入のポイントについて」、アルバック九州(株) 取締役 末重 公德氏による「真空技術 未来への期待」、(株)食品安全推進センター 代表取締役社長 佐々木 智康氏による「食品衛生管理(HACCP)の制度化について」、鹿児島県知財総合支援窓口による「知財総合支援窓口に関する事業紹介」を発表
13日	84プラザを開催し「さつまいもは世界を救う」と題して、鹿児島大学名誉教授 菅沼 俊彦氏が講演
20日	若手経営者プラザを開催し、コロナ禍の影響やその対策、リモートワークについて意見交換を行った
30日	工農連携(市場に学ぶ)研究会 スマート農業セミナー「スマート農業で挑む～稼げる農業」と題しセミナーを実施 コーディネーター (公社)鹿児島県工業倶楽部副会長、弓場貿易(株) 代表取締役 弓場 秋信氏 パネラー ①「コンテナを活用した植物栽培システム活用事例」 (株)エルム 取締役第1開発部長 桐原 弘氏、取締役第2開発部長 和田 健吾氏 ②「鹿児島市場について」 鹿児島青果(株) 代表取締役社長 大山 康成氏 ③「水耕栽培の基本とカリウム低減作物栽培」 国立大学法人鹿児島大学農学部食料生命科学科 准教授 渡部 由香氏 ④「県が目指すスマート農業の将来像及び推進方策について」 鹿児島県経営技術課技術主幹普及企画係長 指宿 浩氏
8月 11日	84プラザを開催し、「地域が「稼ぐこと」～顧客と向き合えば地域が変わる」と題して、南さつま市観光協会 切通 真紀子氏・後藤まどか氏が講演

8月17日	若手経営者プラザを開催し、「世界が求めているものは何か」と題して、タナカサトル技術支援 代表取締役 田中覚氏が講演
28日	始良・霧島地区プラザを開催し、「新型コロナウイルス関連対策の概要について」と題して、鹿児島県始良・伊佐地域振興局長 中野 功久氏が講演
9月 1日	八日会を開催し、情報交換を実施
17日	84プラザを開催し「マーケティングについて」と題して、鹿児島相互信用金庫 営業戦略部地域商社室室長 谷口 克也氏が講演
23日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」内容検討と意見交換会を行った
10月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
13日	正副会長会を開催し、令和2年度決算及び令和3年度予算について協議 理事会を開催し、令和2年度決算及び令和3年度予算について協議 県議会、商工労働水産部との懇談会を実施
14日	第79回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催 第一部 ビジネスプラン発表 1. カクイ(株) (鹿児島市)「ゼロビオース開発の経緯—なぜ綿屋が機能性物質を—」 2. 三州産業(株) (鹿児島市)「植物検疫に用いられるモジュール型蒸熱処理装置の販路拡大」 3. (株)イーデン電気 (鹿屋市)「光触媒を用いた抗菌施工による感染予防対策としての販路拡大」
16日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」内容検討と意見交換会を行った
21日	84プラザを開催し、「魚を「食べる楽しみ」と「食べて健康」を両立させる山口水産の挑戦について」と題して、株式会社山口水産 代表取締役社長 山口 大悟氏が講演
23日	工農連携～市場に学ぶ～研究会第1回ラボツアーの開催 視察1 コンテナ&自動搬送ロボットを活用した植物工場「エコナーセリー」 (株式会社エコナーセリー、農業法人AGRICIA) 視察2 カリウム低減作物水耕栽培ファーム (鹿児島大学農学部渡部准教授実証ほ場) 視察3 鹿児島青果(株) 鹿児島市中央卸市場 意見交換会
11月9日	八日会を開催し、情報交換を実施
12日	食産業部会及び貿易部会の合同例会を開催し、「鹿児島の食産品をいかに世界に広げるか—その視点とマーケティング手法—」と題し、鹿児島県立短期大学 学長 塩地 洋氏講演

13日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」内容検討と意見交換会を行った
13日	プラザいもづるを開催し、近状報告と意見交換を実施
16日	84プラザを開催し、「コロナで強制改革された現在、どのようにITを活用してマーケティングを行うか」と題し、Poka代表 徳田 喜一氏が講演
18日	令和2年度九州各県工業団体事務局連絡会議を開催
24日	スーパーシティ研究会を開催し「スマートシティの概要について」の講話と、国土交通省都市計画調査室 専門調査官 天野 亮氏との質疑応答
27日	始良・霧島地区プラザを開催し、「一芋焼酎のアフターコロナー多様な香味で販売促進」と題して、鹿児島県工業技術センター 所長 瀬戸口 眞治氏が講演
12月10日	令和2年度代表者会議を開催
14日	84プラザ及び食産業部会合同例会を開催し、「鹿児島醤油・味噌の海外戦略におけるマーケティング」と題し、藤安醸造(株) 専務 藤安 健志氏が講演
15日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」内容検討と意見交換会を行った
16日	工農連携～市場に学ぶ～研究会第2回ラボツアーの開催 第一部 鹿児島県農業法人協会との意見交換会 ① 鹿児島堀口製茶有限会社（スマート農業の取り組みについて） ② 農研機構枕崎茶業研究拠点（スマート農業実証プロジェクト概要） ③ テラスマイル株式会社（集積したデータを活用する仕組みづくり） ④ 意見交換会 第二部 視察 鹿児島堀口製茶有限会社ほ場
1月8日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について、資料作成及び意見交換を行った
18日	84プラザを開催し、「チャレンジ」と題し、宝来メデック株式会社 代表取締役 寶来 豊晴氏が講演
20日	若手経営者プラザを開催し、工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について、資料作成及び意見交換を行った
2月1日	（公社）鹿児島県工業倶楽部創立30周年記念式典及び「第10回食と健康に関するシンポジウム」を城山ホテル鹿児島「エメラルドホール」で開催 「第10回食と健康に関するシンポジウム」 ◎基調講演「鹿児島の豊かな地域資源を活かした未来への挑戦！」と題し、鹿児島県知事 塩田康一氏が講演

	<p>◎講演1「未来志向の給食システムの提案～食材連携で鹿児島健康を創る～」と題し、鹿児島大学大学院歯学総合研究科 教授 堀内正久氏が講演</p> <p>◎講演2「食資源の高度利用で新産業育成を図る」と題し筑波大学生命環境系/地中海・北アフリカ研究センター 教授 磯田博子氏が講演</p> <p>(公社)鹿児島県工業倶楽部創立30周年記念式典</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開式 2 式辞 (公社)鹿児島県工業倶楽部会長 岩元 正孝 3 来賓挨拶 <ul style="list-style-type: none"> 九州経済産業局長 米田 健三氏 鹿児島県知事 塩田 康一氏 鹿児島大学学長 佐野 輝氏 4 未来への提言 若手経営者プラザ会長 中崎 啓文・脇野 真梨江 5 閉式
10日	<p>第12回鹿児島産業技術賞発表式及び第80回ベンチャープラザ鹿児島二水会を開催</p> <p>第一部 第12回鹿児島産業技術賞表彰式 大賞：キリシマ精工(株)【鹿児島市】 奨励賞：薩摩総研(株)【指宿市】 特別賞：(株)日置精工【日置市】</p> <p>第二部 第80回ベンチャープラザ鹿児島二水会 受賞記念報告会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリシマ精工(株)「患者と歯科医の負担軽減を実現する歯列矯正具」 2. 薩摩総研(株)「金属に代わる射出成形用シリコン樹脂材料」 3. (株)日置精工「小さな躯体で大きな仕事、多層式ドラム回転型食品選別機」 (さつまいもチップ選別機・落花生選別機)
12日	<p>工農連携～市場に学ぶ～研究会第3回ラボツアーの開催 (鹿児島県農業開発総合センター)</p> <p>試験ほ場視察 環境制御に関する試験研究の取組紹介 (施設園芸) 野菜研究室、花き研究室</p> <p>県内のスマート農業の取組の紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「畜産におけるスマート農業の現状」 企画調整部普及情報課 木之下 明弘氏 ②「施設野菜におけるスマート農業～環境制御技術の導入促進への取組～」 企画調整部普及情報課 松元 徹氏 ③鹿児島県農業開発総合センターとの意見交換
3月3日	<p>若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」及び「オンラインビジネスマッチング」を実現するために必要なプロセスの確認と、課題点について意見交換会を行った</p>
8日	<p>八日会を開催し情報交換を実施</p>
19日	<p>スーパーシティ研究会を開催し、「スーパーシティに向けて谷山緑地再生計画の概要」と題し、鹿児島県土木部都市計画課長 坪田 大志氏が講演を行った後、「谷山緑地再生計画へのスマート化技術導入」についての意見交換を行った。</p>

◇各種会合等一覧表

月	総会・理事会 正副会長会	委員会等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 2年 4	正副会長会 理事会			2
5			八日会	1
6	通常総会 理事会	総務・広報委員会	八日会	4
7		特命委員会 総務・広報委員会	84プラザ、若手経営者プラザ、工農連携～市場に学ぶ～研究会	5
8		特命委員会	84プラザ、若手経営者プラザ、始良・霧島地区プラザ	4
9		特命委員会	八日会、84プラザ、若手経営者プラザ	4
10	正副会長会 理事会		八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、若手経営者プラザ、84プラザ、工農連携～市場に学ぶ～研究会	7
11		令和2年度九州各 県工業団体事務局 連絡会議	八日会、食産業部会、貿易部会、若手経営者プラザ、プラザいもづる、84プラザ、スーパーシティ研究会、始良・霧島地区プラザ	9
12	代表者会議	特命委員会(2回)	84プラザ、食産業部会、若手経営者プラザ、工農連携～市場に学ぶ～研究会	7
令和 3年 1		特命委員会 渉外委員会	84プラザ、若手経営者プラザ(2回)	5
2	工業倶楽部 創立30周年 記念式典	総務・広報委員会	「第10回食と健康に関するシンポジウム」、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、工農連携～市場に学ぶ～研究会	5
3	正副会長会 理事会		八日会、若手経営者プラザ、スーパーシティ研究会	5
各種会合回数 58回				

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報委員会	7月	会報No. 66号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	2月	会報No. 67号を作成・発送	鹿児島県産業会館
渉外委員会	1月25日	逆ラボツアー打合せ	(株)久永
特命委員会	7月10日	食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ	鹿児島大学
	8月18日	食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ	鹿児島大学
	9月23日	工業倶楽部創立30周年記念式典「未来への提言」打合せ (若手経営者プラザと合同)	中崎会長宅
	12月1日	食と健康に関するシンポジウム 第3回 打合せ	鹿児島大学
	12月15日	工業倶楽部創立30周年記念式典「未来への提言」打合せ (若手経営者プラザと合同)	マークメイサン
	1月12日	工業倶楽部創立30周年記念式典打合せ	工業倶楽部事務局

◇ 各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
食産業部会・貿易部会	11月12日	貿易部会との合同例会 (1) 講演「鹿児島の食産品をいかに世界に広げるか —その視点とマーケティング手法—」 講師 鹿児島県立短期大学 学長 塩地 洋氏 (2) 近況報告と情報交換	マークメイサン
食産業部会	12月14日	84プラザとの合同開催 (1) 講演「鹿児島醤油・味噌の海外戦略におけるマーケティング」 講師 藤安醸造(株) 専務 藤安 健志氏 (2) 近況報告と情報交換	マークメイサン

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	5月13日	(1) 近況報告、情報交換	山形屋
	6月10日	(1) 近況報告、情報交換	ルクソン鹿児島
	9月1日	(1) 近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	10月8日	(1) 近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	11月9日	(1) 近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	3月8日	(1) 近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
84 プラザ	7月13日	(1) 講演「さつまいもは世界を救う」 講師 鹿児島大学名誉教授 菅沼 俊彦 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	マークメイザン
	8月11日	(1) 講演「地域が「稼ぐこと」～顧客と向き合えば 地域が変わる」 講師 南さつま市観光協会 切通 真紀子氏 後藤 真紀子 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	マークメイザン
	9月17日	(1) 講演「マーケティングについて」 講師 鹿児島相互信用金庫営業戦略部 地域商社室室長 谷口 克也氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	マークメイザン
	10月21日	(1) 講演「魚を「食べる楽しみ」と「食べて健康」 を両立させる山口水産の挑戦について」 講師 (株)山口水産 代表取締役社長 山口 大悟氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	産業会館
	11月16日	(1) 講演「コロナで強制改革された現在、どのよう にITを活用してマーケティングを行う か」 講師 P o k a e代表 徳田 喜一氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	マークメイザン
	12月14日	食産業部会と合同開催 (1) 講演「鹿児島醤油・味噌の海外戦略における マーケティング」 講師 藤安醸造(株)専務 藤安 健志氏 (2) 今語りたいこと（3分間スピーチ）	マークメイザン

	1月18日	(1) 講演「チャレンジ」 講師 宝来メデック株式会社 代表取締役 寶来 豊晴氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	マークメイザン
若手経営者 プラザ	7月20日	「コロナ禍の影響やその対策、リモートワーク、近況報告」についての意見交換	マークメイザン
	8月17日	(1) 講演「世界が求めているものは何か」 講師 タナカサトル技術支援 代表取締役 田中覚氏 (2) 近況報告	マークメイザン
	9月23日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について内容検討と意見交換	鹿児島市内
	10月16日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について内容検討と意見交換	マークメイザン
	11月13日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について内容検討と意見交換	マークメイザン
	12月15日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」について内容検討と意見交換	マークメイザン
	1月8日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」の資料作成及び意見交換	ソーホーかごしま
	1月20日	工業倶楽部創立30周年記念式典の「未来への提言」の資料作成及び意見交換	マークメイザン
	3月3日	「YouTube バトン」及び「オンラインビジネスマッチング」実現のために必要なプロセスの確認と課題についての意見交換	マークメイザン
	プラザ いもづる	11月13日	近況報告と情報交換

◇ 地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
始良・霧島 地区プラザ	8月28日	(1) 講演「新型コロナウイルス関連対策の概要について」 講師 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 局長 中野 功久 氏	豚 珍 館
	11月27日	(1) 講演「一芋焼酎のアフターコロナー多様な香味で販売促進」 講師 鹿児島県工業技術センター 所長 瀬戸口 眞治氏	豚 珍 館

◇ 研究会活動実績

研究会名	月 日	内 容	場 所
工農連携 (市場に 学ぶ) 研 究会	7月30日	<p>スマート農業セミナー 「スマート農業で挑む～稼げる農業」 コーディネーター 弓場貿易(株) 代表取締役 弓場 秋信氏 パネラー</p> <p>①「コンテナを活用した植物栽培システム活用事例」 (株)エルム 取締役第1 開発部長 桐原 弘氏 取締役第2 開発部長 和田 健吾氏</p> <p>②「鹿児島市場について」 鹿児島青果(株) 代表取締役社長 大山 康成氏</p> <p>③「水耕栽培の基本とカリウム低減作物栽培」 国立大学法人鹿児島大学農学部食料生命科学科 准教授 渡部 由香氏</p> <p>④「県が目指すスマート農業の将来像及び推進方策について」 鹿児島県経営技術課技術主幹普及企画係長 指宿 浩氏</p>	かごしま県 民交流セン ター
	10月23日	<p>工農連携～市場に学ぶ～研究会第1回ラボツアー (1) 視察 ① コンテナ&自動搬送ロボットを活用した植物 工場 「エコナーセリー」(株式会社エコナーセリー、 農業法人AGRICIA) ② カリウム低減作物水耕栽培ファーム(鹿児島 大学渡部准教授実証ほ場) ③ 鹿児島市中央卸売市場(鹿児島青果(株)) (2) 意見交換会</p>	日 置 市 鹿 児 島 市
	12月16日	<p>工農連携～市場に学ぶ～研究会第2回ラボツアー (1) 鹿児島県農業法人協会(茶業部)との意見交換 会(鹿児島堀口製茶有限会社 事務所) ① 鹿児島堀口製茶(有):「スマート農業の取り組 みについて」 ② 農研機構枕崎茶業研究拠点:「スマート農業実 証プロジェクト概要について」 ③ テラスマイル(株):「集積したデータを活用す る仕組みづくりについて」 (2) 視察 鹿児島堀口製茶(有)ほ場 スマート農業実証プロジェクト現地視察 (3) 意見交換会</p>	志 布 志 市

	2月12日	<p>工農連携～市場に学ぶ～研究会第3回ラボツアー</p> <p>(1) 試験ほ場視察 環境制御に関する試験研究の取組紹介 野菜研究室、花き研究室</p> <p>(2) 県内のスマート農業の取組について</p> <p>①「畜産におけるスマート農業の現状」 企画調整部普及情報課 木之下 明弘氏</p> <p>②「施設野菜におけるスマート農業～環境制御技術の導入促進への取組～」 企画調整部普及情報課 松元 徹氏</p> <p>(3) 意見交換会</p>	南さつま市 金峰町
スーパー シティ 研究会	11月24日	<p>(1) 「スマートシティの概要について」説明</p> <p>(2) 質疑応答(zoom使用) 国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室 専門調査官 スマートシティプロジェクトチ ーム事務局 天野 亮氏</p> <p>(3) 近況報告及び情報交換</p>	マークメイザン
	3月19日	<p>(1) 講演「スーパーシティに向けて谷山緑地再生 計画の概要」 講師 鹿児島県土木部都市計画課長 坪田 大志氏</p> <p>(2) スマート化技術導入についての意見交換</p> <p>(3) 近況報告及び情報交換</p>	ソーホーか ごしま

貸借対照表

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,339,467	3,511,860	3,827,607
未収金	7,069,599	19,908,215	△ 12,838,616
流動資産合計	14,409,066	23,420,075	△ 9,011,009
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,430,000	9,430,000	0
基本財産合計	9,430,000	9,430,000	0
(2) 特定資産			
周年事業積立金	384,647	1,000,000	△ 615,353
特定資産合計	384,647	1,000,000	△ 615,353
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	9,887,448	10,502,801	△ 615,353
資産合計	24,296,514	33,922,876	△ 9,626,362
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	9,000,000	19,000,000	△ 10,000,000
未払金	580,396	564,518	15,878
預り金	210,768	253,232	△ 42,464
未払消費税等	592,000	921,500	△ 329,500
流動負債合計	10,383,164	20,739,250	△ 10,356,086
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	10,383,164	20,739,250	△ 10,356,086
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	13,913,350	13,183,626	729,724
(うち基本財産への充当額)	(9,430,000)	(9,430,000)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(384,647)	(1,000,000)	(△615,353)
一般正味財産合計	13,913,350	13,183,626	729,724
正味財産合計	13,913,350	13,183,626	729,724
負債及び正味財産合計	24,296,514	33,922,876	△ 9,626,362

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息収入	943	1,380	△ 437
② 特定資産運用益			
特定資産利息収入	9	0	9
③ 受取入会金			
入会金	180,000	210,000	△ 30,000
④ 受取会費	10,446,600	10,304,500	142,100
正会員	8,946,600	8,804,500	142,100
10,000円×39会員	410,000	360,000	50,000
30,000円×38会員	1,140,000	1,080,000	60,000
55,000円×15会員	825,000	770,000	55,000
80,000円×35会員	2,800,000	2,720,000	80,000
105,000円×14会員	1,470,000	1,470,000	0
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×9会員	1,395,000	1,395,000	0
新規会員×18会員	256,600	359,500	△ 102,900
計173会員			
賛助会員会費	1,500,000	1,500,000	0
100,000円×11会員	1,100,000	1,100,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計13会員			
⑤ 受取補助金	283,000	200,000	83,000
令和2年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
アフターコロナ対応産業支援情報基盤整備事業補助金(鹿児島県)	83,000	0	83,000
⑥ 受取負担金	434,000	1,029,000	△ 595,000
総会懇談会負担金	434,000	434,000	0
新年大会懇談会負担金	0	595,000	△ 595,000
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	31,066,625	39,654,010	△ 8,587,385
⑧ 雑収益	56,068	55,090	978
経常収益計	42,467,245	51,453,980	△ 8,986,735

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
(2) 経常費用								
① 事業費				21,791,426		25,245,765		△ 3,454,339
給料手当				9,220,397		10,052,208		△ 831,811
賃金				1,741,870		4,806		1,737,064
福利厚生費				1,517,914		1,613,006		△ 95,092
退職金掛金				0		0		0
表彰費				0		65,510		△ 65,510
旅費交通費				1,345,942		2,314,296		△ 968,354
通信運搬費				460,875		291,389		169,486
消耗品費				950,027		318,682		631,345
印刷製本費				373,780		189,000		184,780
会議費				831,200		294,160		537,040
諸謝金				0		6,287,290		△ 6,287,290
貸借料				2,574,429		1,858,679		715,750
支払負担金				264,000		0		264,000
広告料				724,350		16,500		707,850
支払利息				153,723		246,737		△ 93,014
租税公課				1,437,500		1,638,800		△ 201,300
雑費				195,419		54,702		140,717
② 管理費				19,946,095		26,785,143		△ 6,839,048
給料手当				15,115,384		18,326,974		△ 3,211,590
福利厚生費				2,348,474		2,794,696		△ 446,222
退職金掛金				288,000		288,000		0
退職金				0		109,089		△ 109,089
旅費交通費				8,550		130,930		△ 122,380
通信運搬費				295,645		323,406		△ 27,761
消耗品費				474,750		368,531		106,219
印刷製本費				263,340		545,727		△ 282,387
会議費				0		1,214,705		△ 1,214,705
諸謝金				0		0		0
貸借料				1,002,278		1,573,223		△ 570,945
支払負担金				0		628,800		△ 628,800
租税公課				0		23,150		△ 23,150
雑費				149,674		196,312		△ 46,638
顧問料				0		261,600		△ 261,600
公益目的事業費振替額				0		0		0
経常費用計				41,737,521		52,030,908		△ 10,293,387
当期経常増減額				729,724		△ 576,928		1,306,652
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計				0		0		0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損				0		2		△ 2
経常外費用計				0		2		△ 2
当期経常外増減額				0		△ 2		2
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)				729,724		△ 576,930		1,306,654
他会計振替額				0		0		0
一般正味財産期首残高				13,183,626		13,760,556		△ 576,930
一般正味財産期末残高				13,913,350		13,183,626		729,724
Ⅲ 正味財産期末残高				13,913,350		13,183,626		729,724

正味財産増減計算内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科目	公益目的事業会計				収益事業 等会計	法人会計	合計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
(2) 経常費用							
① 事業費	19,261,333	1,037,158	0	20,298,491	0	1,492,935	21,791,426
給料手当	9,220,397	0		9,220,397		0	9,220,397
賃金	1,736,424	5,446		1,741,870		0	1,741,870
福利厚生費	1,504,453	13,461		1,517,914		0	1,517,914
退職金掛金	0	0		0		0	0
表彰費	0	0		0		0	0
旅費交通費	1,139,892	95,780		1,235,672		110,270	1,345,942
通信運搬費	405,947	23,468		429,415		31,460	460,875
消耗品費	724,110	225,917		950,027		0	950,027
印刷製本費	191,400	84,700		276,100		97,680	373,780
会議費	0	269,823		269,823		561,377	831,200
諸謝金	0	0		0		0	0
貸借料	2,018,167	287,032		2,305,199		269,230	2,574,429
支払負担金	0	0		0		264,000	264,000
広告料	724,350	0		724,350		0	724,350
支払利息	153,723	0		153,723		0	153,723
租税公課	1,412,000	2,800		1,414,800		22,700	1,437,500
雑費	30,470	28,731		59,201		136,218	195,419
② 管理費	8,863,041	8,407,224	0	17,270,265	0	2,675,830	19,946,095
給料手当	7,722,368	5,657,609		13,379,977		1,735,407	15,115,384
福利厚生費	1,140,673	785,221		1,925,894		422,580	2,348,474
退職金掛金	0	172,800		172,800		115,200	288,000
退職金	0	0		0		0	0
旅費交通費	0	8,531		8,531		19	8,550
通信運搬費	0	245,387		245,387		50,258	295,645
消耗品費	0	394,041		394,041		80,709	474,750
印刷製本費	0	244,642		244,642		18,698	263,340
諸謝金	0	0		0		0	0
貸借料	0	774,762		774,762		227,516	1,002,278
租税公課	0	0		0		0	0
雑費	0	124,231		124,231		25,443	149,674
公益目的事業費振替額	2,942,286	△2,942,286		0		0	0
経常費用計	31,066,660	6,502,096	0	37,568,756	0	4,168,765	41,737,521
当期経常増減額	0	△758,979	0	△758,979	0	1,488,703	729,724
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損							0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	0	△758,979	0	△758,979	0	1,488,703	729,724
他会計振替額	0	758,979		758,979		△758,979	0
一般正味財産期首残高	0	1,690,802		1,690,802		11,492,824	13,183,626
一般正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	12,222,548	13,913,350
Ⅲ 正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	12,222,548	13,913,350

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,430,000	0	0	9,430,000
小計	9,430,000	0	0	9,430,000
特定資産				
周年事業積立金	1,000,000	0	615,353	384,647
小計	1,000,000	0	615,353	384,647
合計	10,430,000	0	615,353	9,814,647

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	9,430,000	(0)	(9,430,000)	—
小計	9,430,000	(0)	(9,430,000)	—
特定資産				
周年事業積立金	384,647	(0)	(384,647)	—
小計	384,647	(0)	(384,647)	—
合計	9,814,647	(0)	(9,814,647)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和2年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
アフターコロナ対応産業支援情報基盤整備事業補助金	鹿児島県	0	83,000	83,000	0	—
合計		0	283,000	283,000	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載

2. 引当金の明細
引当金なし

財産目録
令和3年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金		鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金	2,134,597
		鹿児島銀行本店No. 3087965	運転資金	4,909,581
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	295,289
			小計	7,339,467
未収金	受取会費	令和2年度会費		10,000
	事業収入	知財総合支援窓口運営業務		7,059,599
			小計	7,069,599
	他会計貸付金			0
流動資産合計				14,409,066
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,430,000
		南日本銀行 本店		3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 本店		3,000,000
			小計	9,430,000
特定資産	普通預金	鹿児島銀行 本店 No. 3170092	周年事業積立金	384,647
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1
	電話加入権	099-225-8012 他 4 回線		72,800
固定資産合計				9,887,448
資産の部 合計				24,296,514
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		9,000,000
未払金				0
		3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・児童手当拠出金	215,520
		労働保険料	R2年度確定労働保険料差額	582
		通信料	インターネット、電話回線使用料等	67,123
		消耗品費	(株)久永、富士ゼックス鹿児島	70,541
		支払利息	鹿児島銀行 借入金利息	78,566
		賃金	補助人件費	148,064
		他会計借入金		0
			小計	580,396
預り金	預り金			0
		3月分社会保険料	職員分預り	210,768
			小計	210,768
未払消費税等	鹿児島島税務署	R2年度消費税及び地方消費税		592,000
他会計振替				0
他会計振替 (繰越残高調整)				0
流動負債合計				10,383,164
固定負債合計				0
負債の部 合計				10,383,164
正味財産額				13,913,350
負債及び正味財産合計				24,296,514

監 査 報 告 書

令和3年4月19日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
会長 岩 元 正 孝 殿

監事 餅田淳一 

監事 谷口克也 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【第2号議案】 理事の選任について

役員交代に伴う新理事の選任

理事 尾崎 直樹 (株)トヨタ車体研究所取締役常務役員

理事 小坂 秀成 京セラ株式会社鹿児島国分工場長

理事 中間 孝一郎 株式会社エム・エム・シー代表取締役社長

※関係条文

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款（抜粋）

（役員の種類及び選任）

第11条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 20人以上30人以内

(2) 監事 2人

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

（略）

5 会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（役員任期）

第13条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。（略）

2 理事及び監事は、再任されることができる。

(公社)鹿児島県工業倶楽部役員(案)

理事

(R3年度)

番号	役職氏名	所属		番号	役職氏名	所属	
1	末重 公德	アルバック九州(株) 取締役		16	横山 勝一	大協(株) 代表取締役	
2	上田平 重樹	インターマン(株) 代表取締役社長		17	尾崎 直樹	(株)トヨタ車体研究所 取締役・常務役員	新任
3	満石 公一	(株)栄電社 代表取締役		18	本村 嘉啓	南日汽缶工業(株) 代表取締役社長	
4	中間 孝一郎	(株)エム・エム・シー 代表取締役社長	新任	19	本坊 一浩	(株)サナス 代表取締役社長	
5	尾塚 エイ子	(有)尾塚水産 取締役		20	竹迫 昭人	濱田酒造(株) 専務取締役	
6	岩元 正孝	カクイ(株) 代表取締役		21	林 隆秀	(株)ハヤシエネルギーシ ステム代表取締役	
7	門 久義	鹿児島大学名誉教授		22	藤崎 茂実	藤崎商事(株) 代表取締役	
8	鮫島 吉廣	鹿児島大学客員教授		23	寶來豊晴	宝来メデック(株) 代表取締役	
9	佐々木 一郎	かねだい食品(株) 常務取締役		24	板山 孝司	(有)マチダ商事 代表取締役社長	
10	小坂 秀成	京セラ(株)鹿児島国分 工場長	新任	25	益留 福一	マトヤ技研工業(株) 代表取締役	
11	脇野 真梨江	(株)クラインベスト 代表取締役		26	岩重 昌勝	(協)ユニカラ一 理事長	
12	小谷 俊明	クルーシャル・クーリン グ・パフォーマンス(株) 専務取締役		27	弓場 秋信	弓場貿易(株) 代表取締役	
13	神菌 俊一	(株)コレクトプラン 代表取締役					
14	坂元 昭宏	坂元醸造(株) 代表取締役社長					
15	小田 正弘	(株)仙夢 取締役会長					

監事

1	餅田 淳一	餅田淳一税理士事務所 代表		2	谷口 克也	鹿児島相互信用金庫営業 戦略部地域商社室長	
---	-------	------------------	--	---	-------	--------------------------	--

【報告事項】 令和3年度事業計画及び予算について

1 基本方針

昨今の、米中貿易摩擦に代表される保護主義的な動きの台頭、地政学的なリスクの高まり、急激な気候変動や自然災害、非連続な技術革新、そして新型コロナウイルス感染症の世界的拡大など、経営環境はかつてない規模と速度で急激に変化している。

工業倶楽部は創立30周年を迎え、今後も会員増強や他団体との連携を深め、異業種交流をさらに深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンス拡大のために、AIやIoTなどデジタル技術を活用し、DXを推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

令和3年度についても、ITを活用したパートナーシップで時代を先取りすることを目標に、変化を「感知」、「捕捉」そしてビジネスを「変容」し、企業の「競争優位性」を高めるDX推進など企業が新たな価値を持つ事業展開を行うことへの支援に努める。

また、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や中小企業支援機関と協働して解決に導く「知財総合支援窓口運営業務」についても取り組む。

さらに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 企業変革力強化に対する提案等 | 【特命委員会】 |
| ② 知財を活用した産業活性化の推進 | 【特命委員会】 |
| ③ 工業倶楽部活性化のための提案 | 〃 |
| ④ 新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |

(異業種交流事業)

- | | |
|--|------------|
| ① 時代を先取りする異業種交流事業の実施 | 【事業委員会】 |
| ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による経営基盤の強化 | |
| ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発に取り組む | |
| ・異業種交流事業を通しての新規会員の獲得 | 【総務・広報委員会】 |
| ② 県外の工業団体等との交流促進 | 【渉外委員会】 |
| ・九州内の工業団体等の交流による情報交換、事業提携 | |
| ・県外産業界等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進 | |
| ・鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター、二水会との連携 | |

- ③ IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究 【事業委員会】
- ④ 農業と連携した新たな産業育成の研究 ”
- ⑤ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 ”

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大等との交流連携の推進
 - ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化の支援、推進【渉外委員会】
 - ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催 【特命委員会】
- ② 若者就職活動に関するサポート活動の強化 【特命委員会】
 - ・各種インターンシップの支援
- ③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応 【渉外委員会】

(広報・デザイン開発事業)

- ① 工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大 【総務・広報委員会】
 - ・県、県議会、マスコミ等との交流の推進
 - ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP 及び Youtube の活用による事業連携及び会員増強並びに知名度アップ
 - ・デザインと技術の融合による製品・商品の高付加価値化と販路拡大

(法人設立30周年記念事業)

- ① 法人設立30周年を記念して、記念誌の発行等関連事業を実施 【特命委員会】

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定 知財総合支援窓口設置に係る短期借入

- ・借入限度額 3,200 万円

(概算払を活用し、借入額の縮減に努める)

(2) 設備投資の見込みについて

なし

※一般法人法（抜粋）

第5款 理事会（理事会の権限等）

第90条 理事会は、すべての理事で組織する。

2～3（略）

4 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

一 重要な財産の処分及び譲受け

二 多額の借財

三～六（略）

正味財産増減予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	943	1,393	△ 450
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	4	0	4
③ 受取入会金			
入会金	90,000	90,000	0
④ 受取会費			
正会員	10,405,000	10,345,000	60,000
10,000円×49会員	9,005,000	8,845,000	160,000
30,000円×44会員	490,000	420,000	70,000
30,000円×44会員	1,320,000	1,230,000	90,000
55,000円×16会員	880,000	880,000	0
80,000円×35会員	2,800,000	2,800,000	0
105,000円×14会員	1,470,000	1,470,000	0
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×9会員	1,395,000	1,395,000	0
計172会員			0
賛助会員会費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
100,000円×10会員	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和3年度指導団体助成金（鹿児島市）	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金			
総会懇談会負担金	1,260,000	1,260,000	0
総会懇談会負担金	630,000	630,000	0
新年大会懇談会負担金	630,000	630,000	0
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運營業務	32,456,903	32,439,291	17,612
⑧ 雑収益			
受取利息等収入	50,000	50,000	0
	50,000	50,000	0
			0
経常収益計	44,462,850	44,385,684	77,166

正味財産増減予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	23,937,210	22,029,571	1,907,639
給料手当	10,015,720	10,014,832	888
賃金	2,079,000	2,088,076	△ 9,076
福利厚生費	1,612,380	1,612,353	27
退職金掛金	0	0	0
退職金	0	0	0
表彰費	60,000	100,000	△ 40,000
旅費交通費	2,188,929	2,168,929	20,000
通信運搬費	430,064	430,064	0
消耗品費	310,739	310,739	0
印刷製本費	300,000	0	300,000
会議費	1,562,000	565,000	997,000
諸謝金	0	0	0
賃借料	2,359,288	1,985,288	374,000
広告料	989,890	999,890	△ 10,000
支払負担金	354,000	0	354,000
支払利息	200,000	280,000	△ 80,000
租税公課	1,475,200	1,474,400	800
雑費	0	0	0
② 管理費	20,462,551	23,897,558	△ 3,435,007
給料手当	14,989,446	14,890,986	98,460
福利厚生費	2,821,205	2,765,772	55,433
退職金掛金	288,000	288,000	0
退職金	0	0	0
賃金	5,900	0	5,900
旅費交通費	200,000	299,000	△ 99,000
通信運搬費	310,000	292,000	18,000
消耗品費	360,000	376,000	△ 16,000
印刷製本費	360,000	755,000	△ 395,000
会議費	0	1,450,000	△ 1,450,000
諸謝金	0	382,000	△ 382,000
賃借料	776,000	1,696,000	△ 920,000
支払負担金	0	428,800	△ 428,800
支払利息	0	0	0
租税公課	30,000	90,000	△ 60,000
雑費	322,000	184,000	138,000
公益目的事業費振替額			
経常費用計	44,399,761	45,927,129	△ 1,527,368
当期経常増減額	63,089	△ 1,541,445	1,604,534
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	63,089	△ 1,541,445	1,604,534
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高	13,913,350	13,183,626	729,724
一般正味財産期末残高	13,976,439	11,642,181	2,334,258
Ⅲ 正味財産期末残高	13,976,439	11,642,181	2,334,258

正味財産増減予算内訳書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法 人 会 計	合 計
	知財	工業倶楽部	共通	計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用収入						
基本財産利息収入	0	472	0	472	471	943
② 特定資産運用収入						
特定資産利息収入	0	4	0	4	0	4
③ 受取入会金						
入会金	0	45,000	0	45,000	45,000	90,000
④ 受取会費						
正会員	0	5,202,500	0	5,202,500	5,202,500	10,405,000
10,000円×49会員	0	245,000	0	245,000	245,000	490,000
30,000円×44会員	0	660,000	0	660,000	660,000	1,320,000
55,000円×16会員	0	440,000	0	440,000	440,000	880,000
80,000円×35会員	0	1,400,000	0	1,400,000	1,400,000	2,800,000
105,000円×14会員	0	735,000	0	735,000	735,000	1,470,000
130,000円×5会員	0	325,000	0	325,000	325,000	650,000
155,000円×9会員	0	697,500	0	697,500	697,500	1,395,000
			0	0		0
計172会員						
賛助会員会費	0	700,000	0	700,000	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	0	500,000	0	500,000	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	0	200,000	0	200,000	200,000	400,000
計12会員						
⑤ 受取補助金						
令和3年度指導団体助成金（鹿児島市）	0	200,000	0	200,000	0	200,000
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	1,260,000	1,260,000
総会懇談会負担金	0	0	0	0	630,000	630,000
新年大会懇談会負担金	0	0	0	0	630,000	630,000
⑦ 事業収入	32,456,903	0	0	32,456,903	0	32,456,903
⑧ 雑収益						
受取利息等収入	0	25,000	0	25,000	25,000	50,000
受取利息等収入	0	25,000	0	25,000	25,000	50,000
経常収益計	32,456,903	5,472,976	0	37,929,879	6,532,971	44,462,850

正味財産増減予算内訳書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	知財	工業倶楽部	共通	計		
(2) 経常費用						
① 事業費	21,267,210	447,000	0	21,714,210	2,223,000	23,937,210
給料手当	10,015,720	0		10,015,720	0	10,015,720
賃金	2,079,000	0		2,079,000	0	2,079,000
福利厚生費	1,612,380	0		1,612,380	0	1,612,380
退職金掛金	0	0		0	0	0
退職金	0	0		0	0	0
表彰費	0	60,000		60,000	0	60,000
旅費交通費	2,168,929	20,000		2,188,929	0	2,188,929
通信運搬費	430,064	0		430,064	0	430,064
消耗品費	310,739	0		310,739	0	310,739
印刷製本費	0	100,000		100,000	200,000	300,000
会議費	0	217,000		217,000	1,345,000	1,562,000
諸謝金	0	0		0	0	0
賃借料	1,985,288	50,000		2,035,288	324,000	2,359,288
広告料	989,890	0		989,890	0	989,890
支払負担金	0	0		0	354,000	354,000
支払利息	200,000	0		200,000	0	200,000
租税公課	1,475,200			1,475,200		1,475,200
雑費	0			0		0
② 管理費	7,955,870	8,496,344	0	16,452,214	4,010,337	20,462,551
給料手当	6,827,929	5,849,534		12,677,463	2,311,983	14,989,446
福利厚生費	1,127,941	930,290		2,058,231	762,974	2,821,205
退職金掛金	0	172,800		172,800	115,200	288,000
退職金	0	0		0	0	0
賃金	0	4,720		4,720	1,180	5,900
旅費交通費	0	134,000		134,000	66,000	200,000
通信運搬費	0	217,000		217,000	93,000	310,000
消耗品費	0	252,000		252,000	108,000	360,000
印刷製本費	0	252,000		252,000	108,000	360,000
会議費	0	0		0	0	0
諸謝金	0	0		0	0	0
賃借料	0	530,000		530,000	246,000	776,000
支払負担金	0	0		0	0	0
支払利息	0	0		0	0	0
租税公課	0	21,000		21,000	9,000	30,000
雑費	0	133,000		133,000	189,000	322,000
公益目的事業費振替額	3,233,823	△ 3,233,823		0		
経常費用計	32,456,903	5,709,521	0	38,166,424	6,233,337	44,399,761
当期経常増減額	0	△ 236,545	0	△ 236,545	299,634	63,089
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	0	△ 236,545	0	△ 236,545	299,634	63,089
他会計振替額		236,545		236,545	△ 236,545	
当期一般正味財産増減額	0	0		0	63,089	63,089
一般正味財産期首残高	0	1,690,802		1,690,802	12,222,548	13,913,350
一般正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	12,285,637	13,976,439
III 正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	12,285,637	13,976,439

◇ 講演会

演 題：

「工業でも農業でも共通な AI/IoT 技術
導入の流れ」

講 師：

国立研究開発法人産業技術総合研究所センシングシステム研究センター
副研究センター長 山下 健一 氏



(プロフィール)

平成 14 年 九州大学大学院工学府化学システム工学専攻 博士課程修了
同年 産業技術総合研究所に研究職として採用
その後、研究員・主任研究員・企画主幹・研究グループ長などの役職を経て
現在の役職は、センシングシステム研究センター副研究センター長

(講演概要)

工業でも農業でも、AI 技術の導入の第一歩目が最大の障壁とな
ってしまっている理由を整理し、AI が苦手とするようなデータの
実態を補うため、様々な機械学習の技法を組み合わせたり、データ
の収集方法を企画する流れを紹介する。